

平成29年度 事業概要

平成29年度における釧路地域の観光客入込数は、道東道阿寒インターチェンジの開通に伴う道央圏からの移動時間短縮、道の駅阿寒丹頂の里のリニューアルオープンによる集客効果、訪日外国人宿泊客の増加も寄与し、前年度を上回る結果となりました。

国内観光客誘致事業は、季節運航便のJAL中部 - 釧路線、ANA伊丹 - 釧路線PR活動の一環として、名古屋市、大阪市において、釧路の観光・物産プロモーションを関係団体と連携し実施いたしました。

また、釧路市がANAセールス株式会社と連携及び協力に関する協定を締結していることから、ANAひがし北海道支店、中標津空港利用促進期成会と共催し、ANAグループ関連会社を招き、釧路・根室管内広域圏への誘客、釧路空港・中標津空港の利用促進を図る招聘事業を実施いたしました。

さらに、首都圏・関西圏・中部圏の旅行会社商談会へ参加し、釧路ならではの観光素材と商品企画を提案し、「早朝魚河岸まち巡り」「夕暮れまち巡り」「冬のたんちょう号」「冬の釧路川リバーサイドウォーク～蓮の葉氷～」の商品化が実現しました。

道東道の釧路延伸効果を最大化すべく、道央圏、十勝圏の観光客誘致を目的として、「ひがし北海道フードトレイル くしろシーサイドグルメキャンペーン」を実施しました。釧路地域の食「海産物」を気軽に楽しむ、各エリアの名物丼「シーサイ丼」を設定し、北太平洋シーサイドラインに位置する自治体の周遊ルート形成を目指しました。また、期間を1ヵ月延長し、釧路空港レンタカー利用者へ「シーサイ丼喰うポン」を提供することにより、更なる誘客促進を図りました。

釧路大漁どんぱくは、341,050人の来場者を集め、当協会事務局として「いい味イキキくしろ」の開催と併せ、グルメや観光情報を発信しました。

海外観光客誘致事業は、香港最大級の集客を誇る「香港ブックフェア」へ網走市とともに出品し、パンフレットの配布、ステージイベント、オリジナル丹頂折紙を用いた折鶴教室の開催を通じ、東北海道の観光を発信しました。また、北海道観光振興機構が主催する香港旅行会社セールスコール、香港貿易発展局が催す現地旅行会社とのビジネスマッチングへ参加し、観光商品・素材提案を行いました。

釧路市・帯広市・網走市3市連携事業として、台湾において旅行作家ダニーウェン氏のトークショーを中心とするB to Cイベント、ひがし北海道観光事業開発協議会が主催する旅行会社セールスコールへ参加し、現地PR及び送客を要請しました。

中国上海・杭州における旅行会社セールスコールを、弟子屈町・摩周湖観光協会と実施しました。また、VJ地方連携事業「中国北海道観光プロモーション」メディア招請事業では、中国における観光客誘致及び知名度アップを図るため、4名のメディア関係者を招聘し、釧路・オホーツク管内の体験・グルメ等の取材を行い、翌年度の雑誌、インターネット

ット媒体における公開、上海写真展の開催へ繋がりました。

MICE事業は、北海道MICE誘致推進協議会の一員として、首都圏・関西圏における商談会等へ参加し、学会・コンベンション事業者等へ、MICE施設・ホテル・大会補助制度等、当地における開催情報を提供しました。また、歓迎グッズ、観光インフォメーションの手配等、主催者の要望に応じて受入・運営の支援を行いました。

受入体制推進事業は、ホスピタリティ運動強調月間を設定し、歓迎ポスター・のぼりの配布等、歓迎意識の啓発へ向けた取り組みを行いました。

また、インバウンド受入整備事業では、事業所へ外国語講師を派遣し、主に職域において使用頻度が高い会話の研修を行いました。

DMO推進体制強化事業では、11月28日、観光庁から正式に地域連携DMOとして登録されたことを受け、水のカムイ観光圏の圏域（釧路市・弟子屈）を対象地域とする、地域連携DMOとしての役割を明確にするとともに、釧路市街地エリアにおける機能の強化を図る戦略を策定しました。

地域資源を活用した滞在プログラムの商品化へ向けたモニターツアーを実施し、釧路を拠点とする滞在型周遊観光ルート「花びら周遊ルート」の開発・販売に向けた調査に併せ、「まちなか観光」の磨き上げによる観光ビジネスモデル「釧路川リバーサイド観光拠点構想」の策定を推進しました。

また、特産品開発の一環として、地元菓子店と連携し、オリジナル土産品「釧路湿原みるくまんじゅう」「ヤチボさぶれ」を商品化しました。

水のカムイ観光圏事業では、ツーリズムEXPOジャパン、VISIT JAPANトラベルマートへ参加し、「水のカムイ」ブランド及び滞在プログラム・コンテンツを発信しました。また、アドベンチャーツーリズムの推進をねらい、欧米豪をターゲットとする冬期版動画を作製、観光圏ネットワークバス「阿寒・摩周号」の運行、マーケティング調査、Wi-Fi機器設置等を通じ、受入体制を整備しました。

1. 国内観光客誘致事業

(1) 国内観光推進業務

1) ひがし北海道観光素材説明会

- ・日 程 4月25日～27日
- ・内 容 ひがし北海道観光事業開発協議会が主催する素材説明会へ参加し、札幌・東京地区における周知を図った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

2) 名古屋地区観光・物産プロモーション

- ・日 程 5月11日～15日
- ・内 容 JAL中部一釧路線の利用促進、観光客誘致を図るため、名古屋星が丘三越において観光・物産ブースを開設し、マスコミ等へ向けたプロモーションを実施した。
- ・参加者 専務理事・誘致推進課係員

3) 北海道観光プロモーション・観光商談会（大阪・名古屋）

- ・日 程 5月23日～25日
- ・内 容 北海道観光振興機構が主催するプロモーションへ参加し、関西圏・中部圏の旅行会社へ上期観光素材のセールスを行った。
- ・参加者 事務局長・誘致推進課課長

4) 北海道観光プロモーション・観光商談会（東京）

- ・日 程 5月31日～6月2日
- ・内 容 北海道観光振興機構が主催するプロモーションへ参加し、首都圏の旅行会社へ上期観光素材のセールスを行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

5) 大阪地区観光・物産プロモーション

- ・日 程 6月2日～5日
- ・内 容 ANA伊丹一釧路線の利用促進、観光客誘致を図るため、伊丹空港内へ釧路宣伝ブースを設置（6/1～7/31）、大阪千里中央駅前「せんちゅうパル」において観光・物産ブースを開設した。
- ・参加者 事務局長・誘致推進課課長・誘致推進課係員

6) 釧路管内・根室管内ANAグループ視察研修招聘

- ・日 程 6月27日～29日
- ・内 容 ANAセールス釧路支店・中標津空港利用促進協議会と3社共催により、ANAグループ関連会社から12名を招聘し、釧路・根室地区の素材視察を行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

7) ひがし北海道観光誘致キャンペーン

- ・日 程 6月30日～7月2日
- ・内 容 サッポロガーデンパークにおいて、道東4地区観光連盟連絡協議会が主催するキャンペーンへ、マーメイドくしろと参加した。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

8) たんちょう釧路空港利用促進のための航空会社訪問

- ・日 程 10月4日～6日
- ・内 容 JAL、ANA本社を訪問し、就航の御礼と継続及び期間延長等を要望、ピーチアビエーション、フジドリームエアラインへ運航要請等を行った。
- ・参加者 専務理事

9) 北海道観光プロモーション・北海道観光商談会参加(名古屋)

- ・日 程 10月17日～19日
- ・内 容 北海道観光振興機構が主催するプロモーションへ参加し、関西圏の旅行会社へ下期観光素材のセールスを行った。
- ・参加者 マネージャー・誘致推進課課長

10) 北海道観光プロモーション・北海道観光商談会参加(大阪)

- ・日 程 10月24日～26日
- ・内 容 北海道観光振興機構が主催するプロモーションへ参加し、関西圏の旅行会社へ下期観光素材のセールスを行った。
- ・参加者 マネージャー・誘致推進課係員

11) ジャパンボードフェスティバル2017

- ・日 程 11月3日～11月6日
- ・内 容 千葉県我孫子市において開催されたジャパンボードフェスティバルへ参加し、主に自然環境に関する釧路地域の観光資源をPRした。
- ・参加者 誘致推進課係員

12) 北海道観光プロモーション・北海道観光商談会参加(東京)

- ・日 程 11月5日～7日
- ・内 容 北海道観光振興機構が主催するプロモーションへ参加し、首都圏の旅行会社へ下期観光素材のセールスを行った。
- ・参加者 事務局長

13) ひがし北海道観光素材説明会&道東ピーチ懇談会(大阪)

- ・日 程 11月13日～15日
- ・内 容 ひがし北海道観光事業開発協議会が主催するプロモーションへ参加し、関西圏の旅行会社へ下期・次年度観光素材のセールスを行った。ピーチ本社で釧路のPRプレゼンを行った。
- ・参加者 誘致推進課係員

14) 北海道教育旅行誘致キャラバン

- ・日 程 12月10日～15日
- ・内 容 広島・大阪・名古屋・東京会場の商談会において、教育旅行関係者へ観光素材のPRを行った。
- ・参加者 誘致推進課係員

15) 第二回観光立国ショーケース3都市首長サミット in 長崎

- ・日 程 1月12日～14日
- ・内 容 観光立国ショーケース選定3都市×民間企業等事業相談会へ参加し、選定3都市のテーマ（釧路市は食のコンテンツ作り・ライトアップ）について説明を行い、各市のブースで個別相談を行った。
- ・参加者 専務理事

16) 北海道観光振興機構 平成29年度広域観光推進事業成果報告会

- ・日 程 3月12日～14日
- ・内 容 「ひがし北海道フードトレイル くしろシーサイドグルメキャンペーン」について、事業目的・概要・広報物等を紹介、アンケート結果・所感を述べ、次年度に向けての事業内容・目的を報告した。
- ・参加者 事務局長・誘致推進課課長

17) 阪急交通社「北海道長期滞在の旅」参加者説明会

- ・日 程 3月26日～31日
- ・内 容 釧路市内へ9泊10日滞在する上記旅行商品の説明会（東京・大阪・名古屋・福岡）において、参加者へ釧路の魅力をもPRした。
- ・参加者 誘致推進課係員

(2) ひがし北海道フードトレイル くしろシーサイドグルメキャンペーン

道東道の釧路延伸効果を最大化すべく、道央圏や十勝圏からの観光客誘致を目的として、釧路地域の食「海産物」を気軽に楽しめる各エリアの名物丼の食べ歩きを提案、北太平洋シーサイドラインに位置する1市4町の周遊ルートを形成する観光キャンペーンを実施した。11月限定により、レンタカー利用者へお得な「シーサイ丼喰うポン」を発行した。

- ・日 程 9月1日～11月30日
- ・内 容 各エリアから海産物を使用した合計10種類の名物丼を「シーサイ丼」として選出し、観光スポットの情報とともにマスメディアやSNS、パンフレット等により発信した。

(3) 第14回釧路大漁どんぱく

釧路の秋観光幕開けを飾るイベント「釧路大漁どんぱく」の事務局を担い、関係団体と連携し、イベントを開催した。

- ・日 程 9月1日～3日・10日
- ・内 容 花火大会・どんどんパクパク食うべやあー!! (食イベント)・ステージ催事 他
- ・来場者数 341,050人 (期間中延人数)

(4) いい味イキイキくしろ

釧路大漁どんぱくの構成イベントとして、釧路の味覚を情報発信する「いい味イキイキくしろ」を開催した。

- ・日 程 9月2日
- ・内 容 味覚まつり (釧路そば祭り・釧路ラーメン・くしろ寿司祭り・くしろ炉端・地酒・くしろ菓子祭り・いい味イベントオリジナル料理・北のガレット)・いい味ライブ2017
- ・会 場 釧路市観光国際交流センター
- ・来場者数 9,200人

(5) 活しくしろキャンペーン

キャンペーン参加施設の宿泊者を対象とするサービスプランを設定し、秋鮭水揚見学等旬の体験を提供することにより、秋季の誘客と滞在観光の推進を図った。

- ・日 程 9月4日～10月30日
- ・内 容 早朝魚河岸まち巡り (個人45人・団体172人)

(6) 冬季観光キャンペーン

- ・日 程 1月27日～3月4日
- ・内 容 冬ならではの釧路湿原・タンチョウ・SL冬の湿原号を楽しむ定期観光バス「しつげん55パスで巡る 冬のたんちょう号」を阿寒バスとのタイアップにより、企画・運行した。
- ・参加者 744人

2. 海外観光客誘致及び交流事業

(1) プリンズホテル中国上海旅行社FAM Trip懇親会

- ・日 程 6月6日
- ・内 容 プリンズホテル上海支店が、中国上海市より旅行会社12社を招聘し、北海道FAM Tripを実施した。釧路では懇親会が開催され、釧路市とともに参加し、観光資料の提供とともに上海における旅行事情について意見交換を行った。
- ・参加者 専務理事・誘致推進課係員

(2) V J 地方連携事業フィリピンプロモーション

- ・日 程 6月7日
- ・内 容 ひがし北海道観光事業開発協議会主催事業では、フィリピンから旅行会社7社7名を招聘し、網走市において商談会と懇親会が開催された。釧路観光のPRとともに新しい市場として有望とされるフィリピン旅行者の嗜好などを聴取した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(3) 台湾旅行雑誌「食尚玩家」取材に係る協力

- ・日 程 6月17日～19日
- ・内 容 台湾はじめ香港、シンガポールにおいて発行される「食尚玩家」(発行部数10万部)の秋号に46ページの東北海道特集が生まれ、取材に際し、釧路空港国際化推進協議会とともに取材先手配などで協力した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(4) ベトナムにおける訪日旅行促進事業およびメディア招請事業に係る協力

- ・日 程 6月24日～25日
- ・内 容 JNTOによるベトナム訪日促進キャンペーンの一環として、ベトナム有名シンガーNoo Phuoc Thinhをイメージキャラクターとしたプロモーション動画が釧路市内及び釧路湿原で撮影され、現地調整及び手配を行った。
- ・参加者 事務局次長・誘致推進課係員

(5) 香港ブックフェア

- ・日 程 7月18日～25日
- ・内 容 「香港ブックフェア2017」へ、釧路市が網走市とともに参加し、約10,000部の観光パンフレット配布、タンチョウ折鶴教室開催等へ従事した。期間中、北海道観光振興機構主催香港旅行会社セールススクール・香港貿易発展局主催旅行会社とのビジネスマッチングへ参加し、16社と商談した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(6) 台湾雄獅旅行社釧路自転車団歓迎会

- ・日 程 9月11日
- ・内 容 台湾最大手旅行社雄獅旅行社が造成した東北海道サイクリングツアー(参加者37名)の釧路市における歓迎会へ参加し、台湾におけるサイクリング市場について意見交換を行った。
- ・参加者 専務理事・事務局長

(7) イタリアTV番組「キリマンジェロ」取材協力

- ・日 程 9月13日～14日
- ・内 容 J N T Oローマ事務所がサポートする番組の釧路管内取材における行程作成・手配・アテンド等へ釧路市ともに協力した。記者一人が来釧し、丹頂鶴自然公園、夕日、釧路湿原などを取材した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(8) V J トラベルマートF A M T o u r アテンド

- ・日 程 9月26日
- ・内 容 V J トラベルマート終了後、各国からの参加者には日本各地域の視察旅行が生まれ、道東ツアーには、イギリス、カナダ、中国などから37名が参加した。釧路湿原を中心とした市内視察においてアテンド等へ協力した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(9) V J 地方連携事業中国旅行社招聘事業協力

- ・日 程 10月16日～18日
- ・内 容 摩周湖観光協会提案、アジアプロ実施の事業において、弟子屈町で開催された意見交換会・懇親会へ参加した他、阿寒湖畔を含む市内視察へアテンドした。なお、中国上海、杭州、広州より旅行会社8社が参加した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(10) 中国上海・杭州旅行会社セールスコール

- ・日 程 11月1日～5日
- ・内 容 10月に実施された中国旅行社招聘事業の成果を確かめることを目的として、上海市と杭州市におけるセールスコールへ参加し、招聘先を含む8社を訪問した。また、当協会が提案するV J 地方連携事業中国メディア招聘事業において、招聘予定のコーディネーターと事前調整を行った。
- ・参加者 誘致推進課係員

(11) 東北海道観光事業開発協議会台湾旅行社セールスコール

- ・日 程 11月23日～24日
- ・内 容 釧路管内への入込では、最も安定した動向を続ける台湾市場へ、送客の継続と新たな客層の掘り起こしのため、セールスコールを実施し、12社を訪問した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(12) V J 地方連携事業台湾北海道観光プロモーション現地イベント

- ・日 程 11月25日
- ・内 容 旅行作家で北海道V J 観光大使であるD a n n y W e n氏の「探索北之大地東北海道旅物語」と題した講演を中心とする網走市、帯広市、釧路市連携のB t o Cイベントへ参加、協力した。2度の講演会による参集者は、239名を数えた。
- ・参加者 誘致推進課係員

(13) 周遊ルート事業 香港プレスツアーアテンド

- ・日 程 12月16日
- ・内 容 広域周遊ルート事業の一環として実施された、香港プレス招聘事業において、SNSを中心に活動するメディア2名、雑誌記者1名、カメラマン1名へアテンドし、釧路グルメを中心とする観光素材を紹介した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(14) 香港W i n g O n ・ P o l o A i r T r a v e l 取材サポート

- ・日 程 1月29日～30日
- ・内 容 東北海道の団体ツアーを度々企画・催行しているP o l o A i r T r a v e l が、F I T へ向けた商品P R のため、釧路・オホーツク管内へメディアツアーを実施し、その手配及びアテンドへ協力した。
- ・参加者 誘致推進課係員

(15) J A L ファムトリップ ひがし北海道 セミナー・商談会及び懇親会

- ・日 程 2月1日
- ・内 容 ひがし北海道観光事業開発協議会主催、日本航空の協力により、シンガポール、マレーシア、インドネシアの旅行社10社による視察旅行を実施し、商談会において観光コンテンツの紹介およびルート提案等を行った。
- ・参加者 事務局長・誘致推進課係員

(16) V J 地方連携事業「中国北海道観光プロモーション」メディア招請事業

- ・日 程 2月2日～6日
- ・内 容 当協会提案事業が採択され、アジアプロが受託者として実施した。上海より動画作成のためカメラマン2名、旅行雑誌記者1名、コーディネーター1名を招聘し、主に富裕層F I T をターゲットとし、釧路、オホーツク管内の認知度アップを図った。雑誌「旅行者」の記事掲載は5～6月、動画の完成及びインターネット公開は5月を予定している他、コーディ

- ネーターが4月28日より上海で取材時の写真展を開催した。
- ・参加者 誘致推進課係員

3. MICE関係事業

(1) 北海道MICE誘致推進協議会実務者会議・ワーキンググループ会議

- ・日 程 6月5日(札幌市)
8月8日(札幌市)
10月24日(釧路市)
- ・内 容 北海道MICE懇談会・商談会、IME2018参加に係る関係者会議へ参加した。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

(2) 北海道MICE懇談会／商談会

- ・日 程 11月8日(東京)
- ・内 容 日本工学会会員、MICE事業者を招き、プレゼンテーションと商談を行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

(3) 北海道MICEビジネス交流会 in 大阪

- ・日 程 11月10日
- ・内 容 大阪の商談会へ参加し、旅行会社やMICE事業者へプレゼンテーションと商談及び懇親会を行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

(4) 第27回国際MICEエキスポ IME2018

- ・日 程 2月28日
- ・内 容 MICE関連の国際見本市「IME2018」へ出展し、学会関係者等への情報提供を行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

(5) MICEフォローアップ

- ・日 程 3月1日
- ・内 容 釧路市における開催の可能性を有する3団体を訪問し、受入体制等について具体的な情報提供を行った。
- ・参加者 誘致推進課課長・誘致推進課係員

(6) MICE受入支援

歓迎グッズ、パンフレット、観光インフォメーション等、主催者の要請に応じ、支援サービスを提供した。

- ・第18回北海道法人会女性部会全道大会釧路大会 他 14件

4. 観光宣伝事業

(1) 北海道の物産と観光展

道外百貨店「北海道の物産と観光展」において、パネル展示及びパンフレットの提供を行い、観光と物産PRへ努めた。

- ・道・釧路市主催会場 25市 31会場
- ・釧路市自主参加会場 63市 149会場

(2) 観光客誘致宣伝活動（宣伝広告・掲示等）

1) ホームページによる情報提供

インターネットを通じ、日本語・英語・中国語（繁体字）・ハングル4ヶ国語による観光情報を提供し、問合せ、観光資料の提供等へ対応した。

- ・年間アクセス数 187,165件

2) 新聞・雑誌による広告

- ・道内及び地元新聞雑誌等 18件

(3) 観光パンフレット作成

誘客宣伝、着地情報提供のため、観光パンフレットを作成した。

- ・釧路ガイドマップ 97,000部
- ・釧路「新鮮体験」徹底指南書（英） 7,000部
- ・釧路「新鮮体験」徹底指南書（繁体字） 6,000部
- ・釧路「新鮮体験」徹底指南書（簡体字） 3,000部
- ・釧路「新鮮体験」徹底指南書（ハングル） 1,000部
- ・釧路修学旅行ガイド 1,000部

5. 受入体制推進事業

(1) 釧路市観光案内所の運営

交通の玄関口において、情報案内サービスを行った。

- ・場 所 JR釧路駅構内
- ・期 間 通年（年末年始休業）
- ・業 務 観光案内・情報提供等
- ・件 数 28,644件

(2) 歓迎ポスター・歓迎のぼりの作成・配布

釧路市内において開催された全道・全国大会参加者へ歓迎の気持ちを表すため、大会名を記載したポスターを作成し、交通機関、観光施設等へ掲示した。

また、会場周辺の歓迎ムードを高めるため、のぼりの貸出・設置を行った。

- ・大会数 6件

(3) 接遇対応セミナー

ウェルカムマインドの輪を広げ、全市的なイメージアップを図るため、市内事業所を対象とする接遇マナー研修を行った。

また、釧路及び周辺の観光資源に関する講座を併催し、内容の充実を図った。

- ・日 程 6月15日
- ・主 催 釧路商工会議所・釧路観光コンベンション協会
- ・会 場 道東経済センタービル

(4) ホスピタリティ運動

観光シーズン本番を迎え、更なるホスピタリティ推進を図る強調月間を設定し、歓迎ポスターの配布等関係者へ啓発活動を行った。

- ・日 程 7月1日～9月30日
- ・主 催 釧路市・釧路商工会議所・釧路観光コンベンション協会
- ・内 容 歓迎ポスター・歓迎のぼり配布

(5) 観光ガイド支援育成

市民観光ボランティアガイドの運営を補助し、受入体制の充実を図った。

- ・日 程 8月26日
- ・内 容 釧路観光ガイドの会会員を対象とする実地研修

(6) インバウンド受入整備

英語、中国語のネイティブスピーカーを講師として事業所へ派遣し、職域において使用頻度の高い会話を研修し、コミュニケーションを円滑にすることを目的として実施した。

- ・日 程 8月24日
9月 6日
- ・内 容 事業所1社（英語・中国語各2時間）

6. 姉妹都市・交流都市に関する事業

(1) 姉妹都市・交流都市交流物産展の開催

釧路大漁どんぱくの開催に合わせ、姉妹・観光交流都市の物産販売ブースを設け、市民へ向けて情報発信を行った。

- ・日 程 9月1日～9月3日
- ・都 市 名 秋田県湯沢市・鹿児島県出水市・岡山県岡山市・鳥取県鳥取市
- ・会 場 釧路大漁どんぱく会場（釧路市観光国際交流センター前庭）

7. DMO推進体制強化事業

(1) DMO専門人材の配置

北洋銀行、JTB北海道事業部から着任した2名が、それぞれの専門知識を活かしてDMOの推進体制強化へ向けた取組みを推進した。

(2) 釧路観光コンベンション協会のDMO戦略策定

地域連携DMOとしての役割を明確にするとともに、釧路市街地エリアにおける地域DMOとしての機能明確化を図った。

(3) お土産品の開発・販売

地元菓子店と連携し、釧路のお土産品を開発した。

- ・商品名 釧路湿原みるくまんじゅう
- ・発売開始 7月31日
- ・内容 地元菓子店フランダース、「釧路湿原」の商標権を有する標茶町の石川十字堂の協力を得て開発した。
- ・商品名 やちぼサブレ
- ・発売開始 10月25日
- ・内容 谷内坊主をデザインしたオリジナルキャラクター（やちぼ）のクッキーを開発

(4) 地域資源を活用した滞在プログラムの商品化へ向けた調査・企画・開発

1) 滞在プログラム（着地型旅行商品）の開発・検討

- ・日程 2月21日・2月23日
- ・内容 H28年度の観光資源調査に基づきモニターツアーを実施。新たな着地型コンテンツの開発による、年間を通じた商品ラインナップの充実に繋げる取組みを行った。

2) 釧路を拠点とする滞在周遊観光商品の開発へ向けた調査

- ・日程 1月18日～2月27日
- ・内容 訪日外国人旅行者を対象とした動向・ニーズ調査の実施により、釧路を拠点とした周遊観光商品（周遊観光バス）を検討。外国人の利用度が高い定期観光バス「ホワイトピリカ号」の乗客を対象として実施した。（有効回答902件）

(5) 「まちなか観光」の磨き上げによる、釧路を拠点とした観光ビジネスモデルの策定

1) 「釧路川リバーサイド観光拠点構想」の策定

- ・日程 9月29日～2月28日
- ・内容 MOOを中心とする釧路川リバーサイドエリアの観光拠点機能を高め、観光客の満足度向上と滞在促進に繋げる取組みを構築した。

(6) 観光商談会への参加

1) 北洋銀行「観光ビジネスマッチング」参加

- ・日 程 9月7日～9月8日（東京）
- ・内 容 首都圏の旅行会社・メディアに対して水のカムイ観光圏の滞在プログラム等を提案
- ・参加者 マネージャー2名

(7) DMO会議等への参加

1) DMOネットワーク会議、DMO意見交換会

- ・日 程 8月28日（札幌市）
- ・内 容 道内各地域のDMOの取組状況、観光庁のDMO推進施策等について意見交換を行った。
- ・参加者 マネージャー2名

2) DMO意見交換会

- ・日 程 11月27日（札幌市）
- ・内 容 観光庁と各地DMOの意見交換会及び第3回北海道インバウンドフォーラムへ参加した。
- ・参加者 マネージャー2名

3) DMO専門研修・水のカムイ観光圏事業打合せ

- ・日 程 12月18日（札幌市）
- ・内 容 日本版DMO専門家研修「デジタルマーケティング」及びアラヤサッポロとのコンテンツマーケティング打合せを行った。
- ・参加者 マネージャー1名

4) DMO補助金説明会

- ・日 程 1月26日（札幌市）
- ・内 容 平成30年度観光庁DMO補助制度「広域観光周遊ルート形成促進事業制度改正に係る説明会」へ出席した。
- ・参加者 事務局長、マネージャー1名

8. 水のカムイ観光圏事業

(1) 「水のカムイ」体感！滞在プログラムの開発

- 1) ツーリズムEXPOジャパン2017参加（9月22日～24日）
- 2) VISIT JAPANトラベルマート2017参加（9月21日～23日）
- 3) 新観光圏パンフレット・ポスター作成
- 4) PR動画作成（冬季版 2018年1月～3月）

(2) 「水のカムイ」体感！公共交通網の整備等

- 1) 「阿寒・摩周号」運行（7月15日～10月9日・2月3日～3月4日）

(3) 来訪者調査

1) 圏域内滞在満足度・来訪意向調査

夏期27日間・冬期18日間

2) 滞在プログラム満足度調査

- ・ 釧路：早朝魚河岸まち巡り（9月）
- ・ 阿寒湖畔：白銀の阿寒早朝散歩（1～2月）
- ・ 弟子屈町：摩周湖星紀行（9月～2月）

3) 経済波及調査（6月～3月）

- ・ 観光客消費動向調査：釧路市を訪れる日本人観光客を対象として、インターネットを活用したアンケート調査を実施した。
- ・ 観光事業者調査：釧路市内の観光関連事業者を対象として、ヒアリング調査を実施した。

(4) 国際化対応整備等事業

1) 研修会（阿寒湖畔）

- ・ 12月 7日：クレジットカードやスマートフォンを用いた決済環境研修
- ・ 12月14日：インターネットを用いた店舗の情報発信・PR研修

2) セミナー（川湯温泉）

- ・ 1月15日：外国人旅行者対応セミナー

(5) 観光施設・イベント等のおもてなし向上事業

屈斜路コタン アイヌ民俗資料館 スライド英語字幕設置

(6) 情報発信の強化

- 1) ポータルサイト維持管理
- 2) アプリ保守
- 3) 予約システム保守

(7) 情報インフラの整備

- 1) Wi-Fi設置（釧路市リバーサイドエリア8ヶ所・屈斜路コタン1ヶ所）
- 2) Wi-Fi管理（アクセスポイント保守）
- 3) トイレ改修（EGG内・河畔駐車場内）
- 4) QRコード多言語案内板設置（釧路2ヶ所・弟子屈3ヶ所）
- 5) 共通認証システム構築（運用開始時期）
 - ・ 9月：釧路川リバーサイド・釧路市湿原展望台
 - ・ 11月：阿寒湖畔・釧路市観光国際交流センター・丹頂鶴自然公園・屈斜路コタントイレ及びレストハウス・JR摩周駅
 - ・ 2月：アイヌ民俗資料館・MOO・阿寒マルシェ・道の駅摩周温泉

(8) 観光地域づくり人材セミナーの開催

3月20日、釧路市観光国際交流センターにおいて、外国人の視点に立ったインバウンド向けプロモーション映像と海外への情報発信ノウハウを研修した。

(9) V J 事業

- 1) アドベンチャートラベルワールドサミット出展（10月16日～19日
アルゼンチン サルタ州）

(10) 観光圏間の連携の推進

- 1) 全国観光圏協議会参加
- 2) 観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修参加

(11) 観光地域づくりマネージャー短期セミナー育成事業（2月1日～2日・3月5日～6日）

(12) 観光圏HP刷新準備

9. 観光行事等の共催・後援

(1) 共催

- ・第63回 くしろ市民北海盆踊り
8月19日 北大通6丁目～13丁目
- ・くしろ冬まつり
2月 3日～4日 釧路市観光国際交流センター前庭他

(2) 後援・協賛関係

- ・第33回 北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会
5月6日～5月7日
- ・第43回 くしろチューリップ&花フェア
5月28日
- ・第33回 くしろ霧フェスティバル
7月28日～30日
- ・第9回 東北海道シニアカップ大会
7月29日
- ・KUSHIROおもてなしグルメフェスタ in 幣舞2017
8月10日～8月13日
- ・釧路川幣舞橋フェスタ2017
9月 2日～3日
- ・第22回 釧路Oh!!さかなまつり
9月10日

- ・第9回 釧路女相撲大会
9月14日
- ・シャチ&ザトウクジラの学校 in 釧路 2017
9月19日～11月10日
- ・夏川あざみディナーショー in 釧路
10月12日
- ・真氣ディナーショー 2017
10月16日
- ・第5回 道東うまいもんDEナイト
11月3日・4日
- ・道東自動車道シンポジウム 2017 in くしろ
11月15日
- ・タンチョウフォトコンテスト
10月～12月20日
- ・第15回 啄木・雪あかりの町・くしろ
1月21日
- ・第12回 全日本少年アイスホッケー大会
3月24日～28日

10. 協会組織の活動

(1) 通常総会

- ・5月31日 釧路センチュリーキャッスルホテル 2階 平安の間

(2) 理事会

- ・5月17日 釧路市観光国際交流センター 3階 会議室
- ・7月24日 釧路市観光国際交流センター 2階 視聴覚室
- ・8月29日 釧路市観光国際交流センター 2階 視聴覚室
- ・1月30日 釧路市観光国際交流センター 2階 視聴覚室
- ・3月30日 釧路市観光国際交流センター 2階 視聴覚室

(3) 指定管理受託施設の利用状況

- ・釧路市観光国際交流センター 827件
- ・釧路市湿原展望台 86,655人
(個人67,432人・団体19,223人)
- ・幸町緑地 34件

(4) 自主財源の確保

- ・観光名刺販売 20種
- ・観光望遠鏡の設置 9台 (湿原展望台)
- ・自動販売機の設置 9台 (交流センター5・湿原展望台3)

- ・ 釧路市湿原展望台レストラン及び売店営業
- ・ 旅行商品の販売
- ・ 土産品の販売

(5) 機関紙及びメールマガジンの発行

- ・ 釧観協だより 第50号（平成30年1月12日発行）
- ・ メールマガジン6回（偶数月末日発行）

(6) 関係団体との連携強化

- ・ チューリップフェア実行委員会
 - 4月11日 専務理事〔総会〕
 - 5月28日 会長〔セレモニー〕
- ・ 釧路市防火管理者連絡協議会
 - 4月19日 誘致推進課係員〔総会〕
- ・ ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信会議
 - 4月19日 誘致推進課課長
 - 4月28日 事務局長
 - 10月13日 誘致推進課課長
 - 11月30日 誘致推進課課長
 - 3月27日 誘致推進課課長
- ・ 釧路日台親善協会 総会・懇親会
 - 4月20日 会長・専務理事
 - 3月30日 専務理事〔役員会〕
- ・ 釧路長期滞在ビジネス研究会
 - 4月28日 専務理事・事務局長・誘致推進課課長〔総会〕
 - 6月26日 専務理事・事務局長・誘致推進課課長
 - 11月29日 事務局長・誘致推進課課長
 - 12月14日 専務理事・事務局長・誘致推進課課長〔懇親会〕
 - 3月15日 誘致推進課課長
- ・ 第33回くしろ霧フェスティバル実行委員会
 - 5月9日 事務局長〔事務所開き〕
 - 7月28日 副会長〔開会式〕
- ・ 釧路観光連盟
 - 5月10日 会長〔役員会〕
 - 6月13日 会長・専務理事〔定期総会〕
 - 7月12日 会長〔副会長会議〕
 - 12月5日 会長・専務理事〔役員会〕
- ・ くしろ圏観光キャンペーン推進協議会
 - 5月10日 会長〔正副会長〕・局長〔幹事会〕
 - 6月13日 会長・専務理事〔定期総会〕

- ・ 釧路空港国際化推進協議会
 - 5月10日 事務局長〔幹事会〕
 - 5月23日 専務理事〔総会〕
 - 7月11日 事務局長〔幹事会〕
 - 11月17日 事務局長〔幹事会〕
 - 2月20日 事務局長〔幹事会〕
- ・ 釧路市中心市街地活性化協議会
 - 5月18日 専務理事
 - 6月 2日 専務理事
- ・ 釧路市姉妹都市協議会 総会
 - 5月19日 専務理事
- ・ 釧路市物産協会
 - 5月20日 会長〔懇親会〕
 - 1月13日 事務局長〔新年会〕
- ・ 釧路・阿寒イオル協議会
 - 5月22日 専務理事
 - 10月2日 専務理事
- ・ 釧路港利用整備促進協議会
 - 5月23日 専務理事〔総会〕
- ・ 釧路空港利用整備促進期成会
 - 5月23日 専務理事〔総会〕
- ・ 釧路地方総合開発促進期成会 定期総会
 - 5月23日 会長
- ・ 釧路市民憲章推進協議会 定期総会
 - 5月26日 専務理事
- ・ 釧路市平和都市推進委員会
 - 5月29日 専務理事〔正副委員長会議〕
 - 6月 2日 専務理事〔定期総会〕
- ・ くしろ市民北海盆踊り会
 - 5月30日 専務理事〔総会〕
- ・ くしろ港まつり会
 - 6月 1日 専務理事〔総会〕
 - 8月 4日 専務理事〔祈念式典〕
- ・ くしろサイクルツーリズム推進協議会
 - 6月5日 事務局長〔総会〕
 - 8月31日 事務局長
- ・ HAC友の会くしろ 定期総会・懇親会
 - 6月 1日 事務局長
- ・ 釧路日韓友好親善協会
 - 6月 6日 専務理事〔通常総会〕

- ・北方領土復帰期成同盟釧路地方支部
6月13日 会長〔通常総会〕
- ・ひがし北海道観光事業開発協議会
6月19日 専務理事・事務局長・誘致推進課課長〔総会〕
- ・釧路のイベントを充実させる市民の会
6月22日 事務局長
- ・北海道観光振興機構 通常総会及び関係機関訪問（札幌市）
6月26日 会長・専務理事・事務局次長
- ・釧路市地域雇用創造協議会
6月27日 専務理事・事務局次長
- ・第74回国民体育大会スケート協議会・アイスホッケー競技会 釧路市実行委員会
7月7日 会長
- ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会
7月11日 専務理事〔中間会議〕
7月25日 専務理事〔最終会議〕
8月5日 会長・専務理事〔大会〕
- ・釧路イベント協議会
7月26日 事務局長〔総会〕
- ・花咲線沿線観光振興協議会 総会
7月27日 誘致推進課係員
3月7日 誘致推進課係員
- ・釧路定住自立圏共生ビジョン懇談会
7月28日 専務理事
- ・第13回釧路港舟漕ぎ大会
8月5日 会長
- ・釧路湿原国立公園指定30周年記念式典
8月31日 会長
- ・第54回春採湖水まつり慰霊式典・開会式
8月12日 会長
- ・釧路市民戦災者慰霊式並びに平和祈念式
8月15日 会長
- ・釧路市観光大使任命式
8月29日 会長
- ・第14回釧路すえひろはしご酒大会 開会式
8月31日 会長
- ・友好都市出水市文化協会 歓迎レセプション
9月3日 会長
- ・(公社)日本青年会議所北海道地区協議会第66回北海道地区大会釧路大会
9月10日 副会長

- ・阿寒摩周国立公園名称変更記念式典
10月 3日 会長
- ・中華民国（台湾）106年国慶節祝賀レセプション（札幌市）
10月 6日 会長・専務理事
- ・釧路青年会議所創立65周年記念式典懇親会
11月18日 専務理事
- ・くしろ検定委員会
11月22日 専務理事
- ・くしろ冬まつり
11月24日 専務理事〔役員会・総会〕
2月 3日 会長〔セレモニー〕
- ・釧路公共職業安定所雇用対策推進協議会
12月 5日 専務理事
- ・平成30年釧路市新年交礼会
1月 5日 会長・専務理事・事務局長
- ・釧路青年会議所新年交礼会
1月 6日 専務理事
- ・道新グループ新年交礼会
1月 9日 会長・専務理事
- ・関係機関訪問（札幌市）
1月17日～18日 会長・専務理事
- ・釧路市連合町内会新年交礼会
1月19日 専務理事
- ・釧新宝さがし餅まき大会
2月 4日 会長
- ・釧路港フェリー誘致対策特別専門部会
2月 8日 専務理事
- ・JAL感謝の夕べ
2月16日 専務理事
- ・釧路市外国人傷病者対応連絡協議会
2月19日 誘致推進課係員
- ・釧路クルーズ振興部会
2月21日 事務局次長
- ・たんちょう釧路空港利用者利便向上協議会
3月26日 専務理事
- ・北海道観光振興機構各種事業に係る説明会
3月28日 事務局長・マネージャー・誘致推進課課長

11. マーメイドくしろ参加行事・観光宣伝

釧路新聞社・釧路市・釧路観光コンベンション協会の共催により、マーメイドくしろ1名（鈴木美さん）を選出し、釧路市の観光大使として、観光物産展や市内の公的行事等へ参加した。なお、平成28年度に選出された新田結実さんも引き続き従事した。（ ）内は派遣人数

29. 5. 28	「第43回くしろチューリップ&花フェア」	(2)
29. 6. 2~4	「大阪地区釧路観光・物産プロモーション」	(1)
29. 6. 19	北海道じゃらん「美味しい釧路旅」撮影	(1)
29. 6. 30~7. 2	「ひがし北海道観光誘致キャンペーン」札幌市	(2)
29. 7. 9	チャータークルーズ「にっぽん丸」寄港セレモニー	(1)
29. 7. 14	「釧路大好き人」（8月19日発行）取材	(1)
29. 8. 5	「第70回くしろ港まつり」市民踊りパレード	(2)
29. 8. 6	「第70回くしろ港まつり」音楽パレード	(2)
29. 8. 6	「第70回くしろ港まつり」スペシャルパレード	(2)
29. 8. 10~13	KUSHIRO おもてなしグルメフェスタ2017	(2)
29. 8. 19	「第63回くしろ市民北海盆踊り」	(2)
29. 8. 26	「ら・フェスタ2017」	(1)
29. 9. 24	釧路空港「空の日・空の旬間」一日空港長	(1)
29. 10. 7	一日消防長	(2)
29. 10. 11	「全国地域安全運動」出動式	(1)
29. 10. 15~16	松山市「北海道の観光と物産展」伊予鉄高島屋百貨店	(1)
29. 10. 18~19	仙台市「北海道の観光と物産展」藤崎百貨店	(1)
29. 11. 3	北海道「観光列車」歓迎式	(1)
29. 11. 4	北海道「観光列車」出発式	(1)
29. 11. 22~25	鹿児島市「北海道の観光と物産展」山形屋百貨店	(1)
29. 11. 22~25	くしろ地域冬季観光開発協議会「札幌キャンペーン」	(1)
29. 12. 15~17	「道央圏プロモーション」	(2)
29. 12. 27~28	「第96回全日本スキー選手権大会」阿寒湖畔	(2)
30. 1. 27	「SL冬の湿原号」出発式	(1)
30. 1. 27	「北海道観光列車旅行者動向調査モニターツアー」出発式	(1)
30. 1. 28	「北海道観光列車旅行者動向調査モニターツアー」歓迎式	(1)
30. 2. 4	「くしろ冬まつり2018 釧新宝さがし餅まき大会」	(2)
30. 2. 5	「SL冬の湿原号・釧路観光PRデー」	(2)
30. 2. 13	「SL冬の湿原号・釧路観光PRデー」	(2)
30. 4. 28	「しれとこ摩周号」出発式	(2)
30. 4. 28	「くしろ湿原ノロッコ号」出発式	(2)
30. 5. 8	客船「スターレジェンド」初入港歓迎セレモニー	(1)
30. 5. 11	「春の地域安全運動」出動式	(1)
30. 5. 16~19	「大阪地区釧路観光・物産プロモーション」	(1)
30. 5. 27	「第44回くしろチューリップ&花フェア」	(2)

